

平成26年行政事業レビューシート

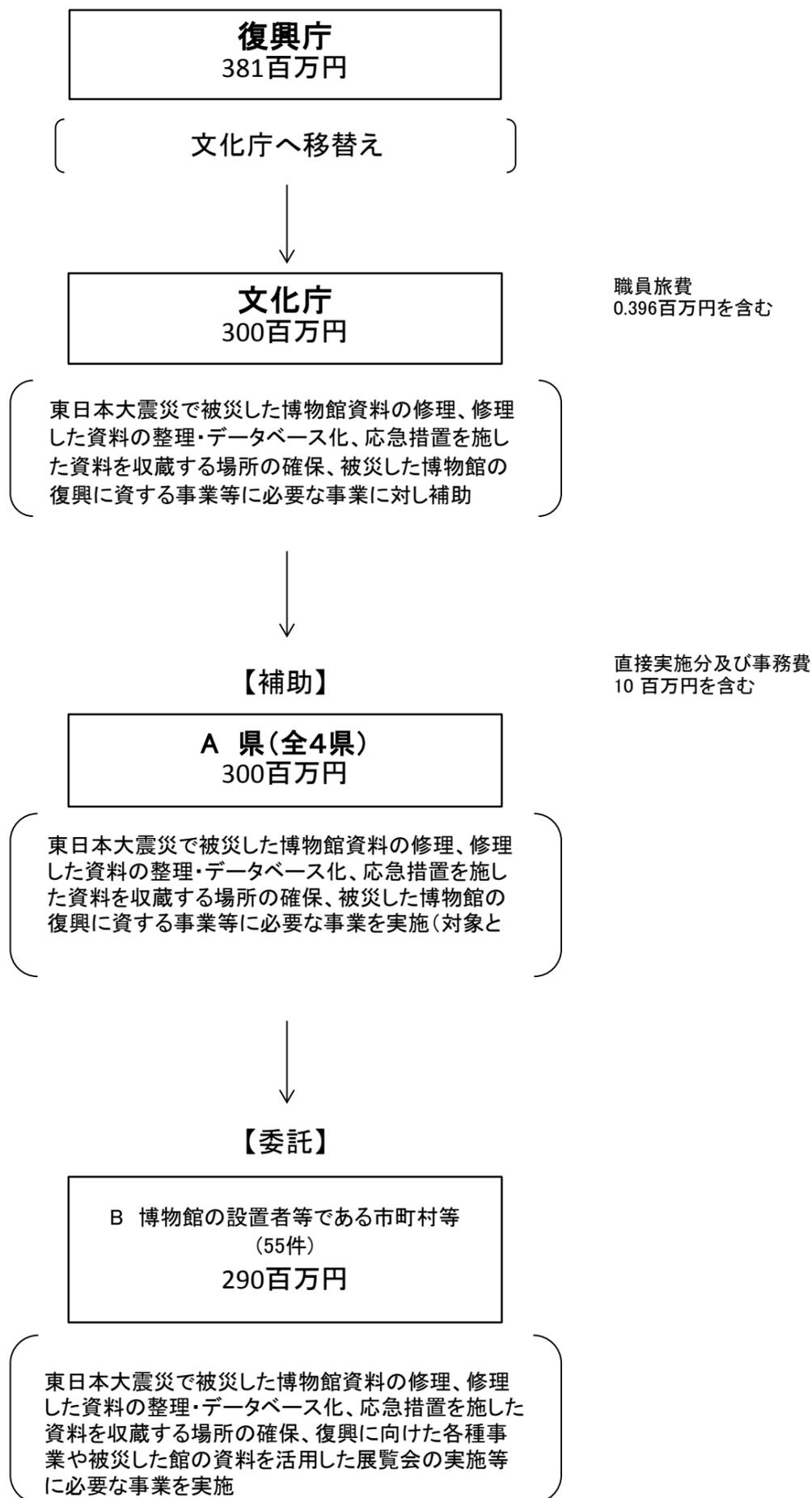
(復興庁)

事業名	被災ミュージアム再興事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成32年度(予定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第13条, 第14条, 第21条, 第26条		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により被災した美術館・歴史博物館の再興を図ることにより東日本大震災からの復興に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	県が実施する、東日本大震災で被災した博物館資料の修理、修理した資料の整理・データベース化、応急措置を施した資料を収蔵する場所の確保、被災した博物館の復興に資する事業等に必要な経費について補助を行う。 (定額補助)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	507	381	463	420	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	507	381	463	420	
	執行額	-	333	300				
執行率(%)	-	65.7%	78.7%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (32年度)
	被災した美術館・博物館における文化財等の整理、応急修理、目録化、仮保管等を実施し、被災以前と同程度の保管環境の確保を事業完了とする。(補助対象事業の件数は、82件)		成果実績	件		14/81件	30/81件	
			目標値	件		20%	30%	100%
			達成度	%		17%	37%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	補助事業の交付決定件数		活動実績	件		3	4	—
			当初見込み	件		3	4	4
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	執行額 / 補助事業実施件数		単位当たりコスト	百万円		111百万円	75百万円	116百万円
			計算式	/		333百万/3件	300百万/4件	462.5百万/4件
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	文化芸術振興費補助金	462.5百万円	419.9百万円					
	職員旅費	0.4百万円	0.4百万円					
	計	462.9百万円	420.3百万円					

事業所管部局による点検・改善								
	項目	評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・復興基本方針(平成23年7月29日、東日本大震災復興対策本部)に定める「⑤文化・スポーツの振興(i)被災した博物館・美術館・図書館等の再建を支援する。」に沿った事業を実施するものであり、国として行うべき施策である。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○						
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	・国が実施すべき事業として県の事業費の1/2を補助している。なお、地方負担分においては、震災復興特別交付税にて措置される予定である。 ・事業目的に則した経費について国庫補助要項で規定し、支出内容を確認している。 ・当初の事業計画より事業量が減少したため不用が生じたものであるが、25年度概算要求以降、各県の事業計画をさらに精査した上で、予算計上している。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○						
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	・あらかじめ補助事業の対象となる県に事業計画を確認して見込みを立てており、実績も見込みのとおりとなっている。 ・成果物については、目的とする博物館の再興のため十分に活用されている。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○						
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—						
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名		
点検・改善結果	点検結果	<p>・各地域の美術館、博物館等は、優れた文化芸術の保存・継承、創造、交流、発信の拠点のみならず、地域の文化活動の拠点としてその機能・役割を担うものである。当該事業は、被災地域の美術館、博物館等の再興に向けた事業を支援することにより、各地域における機能・役割の回復に資するものである。</p> <p>・復興基本方針(平成23年7月29日、東日本大震災復興対策本部)に定める「⑤文化・スポーツの振興(i)被災した博物館・美術館・図書館等の再建を支援する。」に沿った事業を実施するものであり、国として行うべき施策である。</p> <p>・被災地域の美術館、博物館等の被災した博物館資料の修理や修理した資料の整理・データベース化、応急措置を施した資料を収蔵する場所の確保、被災した博物館の復興に資する事業等を重点的に支援することにより、より効果的な復興事業を展開している。</p> <p>・事業目的に則した経費について国庫補助要項で規定し、支出内容を確認している。</p>						
	改善の方向性	引き続き事業目的に則した執行に努め、被災した美術館・歴史博物館の再興に資することを目指す。						
外部有識者の所見								
点検対象外								
行政事業レビュー推進チームの所見								
事業内容の一部改善の	被災した美術館・歴史博物館の再興を図ることを目的に事業を推進しているが、被災地の街づくり計画の策定スケジュールに影響されるなど予算執行が計画どおりに行われていない。復興の進捗とともに被災地のニーズも変化しており、ニーズを踏まえ支援対象を重点化するなど事業内容の見直しを図ることが適当である。							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況								
縮減	被災資料の著しい損傷によって作業が難航し、計画どおりに予算執行を行うことができない一方で、復興の進捗とともに被災地のニーズも変化してきており、そうした被災地の復興状況・ニーズを踏まえた計画の見直しを行い、減額のうえ平成27年度予算要求を行った(対前年度比43百万円減)。							
備考								
東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部) http://www.reconstruction.go.jp/topics/doc/20110729houshin.pdf ※14ページに関連する記載あり。								
関連する過去のレビューシートの事業番号								
	平成23年	—	平成24年	24新-17	平成25年	048		

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)



A 宮城県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	被災した博物館の再興に資する事業	168			
計		168	計		0
B 陸前高田市			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	被災した博物館の再興に資する事業	100			
計		100	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県	被災した博物館の再興に資する事業	168	-	-
2	岩手県	被災した博物館の再興に資する事業	121	-	-
3	福島県	被災した博物館の再興に資する事業	5	-	-
4	茨城県	被災した博物館の再興に資する事業	4	-	-

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	陸前高田市(岩手県)	陸前高田市被災ミュージアム再興事業	100	-	-
2	石巻市(宮城県)	石巻文化センター等資料仮保管事業	37	-	-
3	村田町(宮城県)	村田町歴史みらい館収蔵庫整備事業	26	-	-
4	岩沼市(宮城県)	岩沼市ふるさと展示室資料保管施設設置事業	24	-	-
5	仙台市(宮城県)	応急処置を施した資料を収蔵する場所を確保する事業	19	-	-
6	山田町(岩手県)	山田町被災ミュージアム再興事業	14	-	-
7	東松島市(宮城県)	奥松島縄文村歴史資料館資料修復事業	8	-	-
8	南三陸町(宮城県)	南三陸町立民俗資料館・南三陸町立歌津魚竜館の展示室収蔵室環境整備及び展示制作事業	6	-	-
9	多賀城市(宮城県)	多賀城市埋蔵文化財調査センター収蔵資料再整理事業	5	-	-
10	公益財団法人福島県文化振興財団(福島県)	福島県文化財センター白河館(まほろん)における仮保管資料の維持管理	4	-	-

\*表示単位未満は四捨五入のため、積み上げと合計は一致しない